【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2003-254971(P2003-254971A)
【公開日】平成15年9月10日(2003.9.10)
【出願番号】特願2002-377106(P2002-377106)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０１Ｎ　33/53
　Ｃ１２Ｍ　 1/00
　Ｃ１２Ｎ　15/09
　Ｃ１２Ｑ　 1/68
　Ｇ０１Ｎ　37/00
【ＦＩ】
　Ｇ０１Ｎ　33/53　　Ｍ
　Ｃ１２Ｍ　 1/00　　Ａ
　Ｃ１２Ｑ　 1/68　　Ａ
　Ｇ０１Ｎ　37/00　１０２
　Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
　Ｃ１２Ｎ　15/00　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月29日(2005.6.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　標的物質に対して特異的に結合可能なプローブと、プローブと結合しうる部位、および基材上に結合しうる部位とを含んでなるプローブ媒体。
【請求項２】
　該プローブと結合しうる部位、該基材と結合しうる部位が単一物質中に含まれてなる請求項１に記載のプローブ媒体。
【請求項３】
　該プローブと結合しうる部位、該基材と結合しうる部位がそれぞれ異なる物質に含まれてなり、異なる物質が単一化合物となる物質である請求項１に記載のプローブ媒体。
【請求項４】
　上記記載の結合しうる部位が官能基である請求項１～３に記載のプローブ媒体。
【請求項５】
　上記記載の結合方法が化学的作用による共有結合、イオン結合、静電吸着を含む物理吸着のいずれかによるものである請求項１～４に記載のプローブ媒体。
【請求項６】
　上記記載のプローブが一本鎖核酸であり、該一本鎖核酸の末端に上記官能基と結合可能な官能基が結合されてなる請求項４または５に記載のプローブ媒体。
【請求項７】
　請求項１～６のいずれかに記載のプローブ媒体をスポッティング方法により基材上に付与することにより固定するプローブ固定方法。
【請求項８】

請求項７に記載のプローブ固定方法により作製されたプローブ固定基材のプローブがＤＮＡプローブであるＤＮＡアレイ。
【請求項９】
請求項１～６のいずれかに記載のプローブ媒体をスポッティング方法により基材上に付与することにより固定し、得られたプローブ固定基材を用いて標的物質を検出する検出方法。
【請求項１０】
標的物質と特異的に結合可能なプローブと該プローブと結合しうる部位とを含んでなる物質及び該基材と結合しうる部位とを含んでなる物質を各々もしくは一部を混合して容器中に収納し、基材上に固定する際に混合されてなるプローブ媒体。
【請求項１１】
標的物質に対して特異的に結合可能なプローブと、該プローブと結合する部位及び基材上に結合する部位とを含んでなるプローブ媒体が前記基材上で離間的にスポット状に配置されていることを特徴とするＤＮＡアレイ。
【請求項１２】
上記記載のプローブが一本鎖核酸であり、該一本鎖核酸の末端と前記プローブと結合する部位とが結合している請求項１１に記載のＤＮＡアレイ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記の課題は下記の本発明によって解決された。
（１）標的物質に対して特異的に結合可能なプローブと、プローブと結合しうる部位，および基材と結合しうる部位とを含んでなるプローブ媒体。このプローブと結合しうる部位および基材と結合しうる部位が単一物質中に含まれてなるプローブ媒体。プローブと結合しうる部位，および基材と結合しうる部位がそれぞれ異なる物質に含まれ、異なる物質が単一化合物となる物質をも含んでなるプローブ媒体。プローブ及び基材と結合しうる部位が官能基であっても良い。この結合方法が共有結合、イオン結合、静電吸着を含む物理吸着のいずれかによるものであっても良い。このプローブが、ＤＮＡプローブであっても良い。このプローブが一本鎖核酸であり、該一本鎖核酸の末端に上記官能基と結合可能な官能基が結合されてなるとよい。
（２）上記プローブ媒体をスポッティング方法により基材上に付与することにより固定するプローブ固定方法。このプローブ固定方法により作製されたプローブ固定基材のプローブが、ＤＮＡプローブであるＤＮＡアレイ。プローブ媒体をスポッティング方法により基材上に付与することにより固定し、得られたプローブ固定基材を用いて標的物質を検出する検出方法。
（３）上記プローブとプローブを基材上に固定する物質を各々容器中に収納し、基材上に固定する際に混合されてなるプローブ媒体。
また、本発明に係るＤＮＡアレイは、標的物質に対して特異的に結合可能なプローブと、該プローブと結合する部位及び基材上に結合する部位とを含んでなるプローブ媒体が前記基材上で離間的にスポット状に配置されていることを特徴とする。